

導入の工夫



導入で大切なことは何ですか？

主題に対する児童生徒の興味・関心を高めることです。「**考えたい**」と思わせ、**自分との関わりで考えさせる**ことが大切です。学習指導要領解説には、以下の2つが例としてあげられています。



導入には、本時の**(例1) 主題に関わる問題意識を持たせる導入**、**(例2) 教材の内容に興味や関心を持たせる導入**などが考えられます。下のイメージを参考にしてください。

導入のイメージ (例1：主題に関わる問題意識を持たせる導入)

授業の流れ「中学校 C-(13) 勤労」	
導入	○ 主題に関わる問題意識を持つ。 教師：働く上で大切なことは？ 生徒A：一生懸命働くことが大切です。 生徒B：自分に合っているか、または好きかどうかです。 教師：本当にそれだけですか？教材の主人公の行動を通して、働くことについて考えていきましょう。
展開	○自分との関わりで道徳的価値を理解する。 ○物事を多面的・多角的に考える。 ○自分の問題として受け止め深く自己を見詰める。
終末	○自分の持っていた価値観が、授業を通してどのように深まり、何が自分にとって大切なのか考え、児童生徒がそれぞれに納得解を導き出す。

「本当にそれだけですか？」と問うことにより、知っているつもりになっている価値観を崩し、児童生徒に、「他にどのような**考えがあるのかな？**」「**自分の考えとの違いは？**」「**なぜなのだろう？**」のような問題意識を持たせることができる。

指導の工夫例

例1：主題に関わる問題意識を持たせる	例2：教材の内容に興味や関心を持たせる
<ul style="list-style-type: none"> 日常生活のアンケート結果を提示する。 学校行事等の体験学習を振り返らせる。 新聞やニュース等から時事問題を取り上げる。 	<ul style="list-style-type: none"> クイズ形式で補足説明を加える。 教材の写真や場面絵、実物等を提示する。 (ICT機器を活用するとよい。)

導入五箇条

- 一 **短時間で**
 - ・三〇五分を目標にし、長くなりすぎない。
- 一 **全員参加を意識して**
 - ・考える視点をそろえ、焦点化する。
- 一 **学びの喚起を**
 - ・「考えたい」という意欲を高める工夫を行う。
- 一 **つながりを意識して**
 - ・展開、終末を意識した発問や仕掛けを考える。
- 一 **学級経営を大切に**
 - ・導入の雰囲気づくりは普段の信頼関係から。